

## 【番屋再生プロジェクトについて】

番屋とは、一般的に漁場近くの海岸線に建てられた漁業従事者のための作業場兼福利厚生施設です。それぞれの地域の漁業形態によって作業場、食事、休憩機能を持つなど番屋の形は様々であり、漁業者にとって情報交換を含めた操業拠点の役割を果たしてきました。

日本財団では、水産業復興のために不可欠な番屋再生の支援にあたり、東京海洋大学、岩手県漁業協同組合連合会、宮城県漁業協同組合、全国漁業協同組合連合会、大日本水産会、日本定置漁業協会などの水産業関係団体と連携し、プロジェクトを進めています。

また番屋再建にあたり、「地域に開かれた機能」を付加することを提案しており、番屋がこれまでの垣根を超えた地域の人々が集う、地域再生の拠点となることを目指しています。今後、被災県に20ヶ所程度の番屋の建設を予定しています。

## 【鍛ヶ崎番屋について】

木造2階建 延面積 297.65㎡

### （1階）乗組員のための休憩施設

休憩室 68.08㎡（一部畳敷き = 24畳）

ロビー 20.70㎡

洗濯室 洗濯機 3台、乾燥機 3台

シャワー室 シャワー 4基

脱衣室、更衣室、男女トイレ など

### （2階）セミナーハウス

会議室 77.01㎡

ホール 18.22㎡

湯沸室、男女トイレ など

助成金額：50,790千円

## 完成図

